

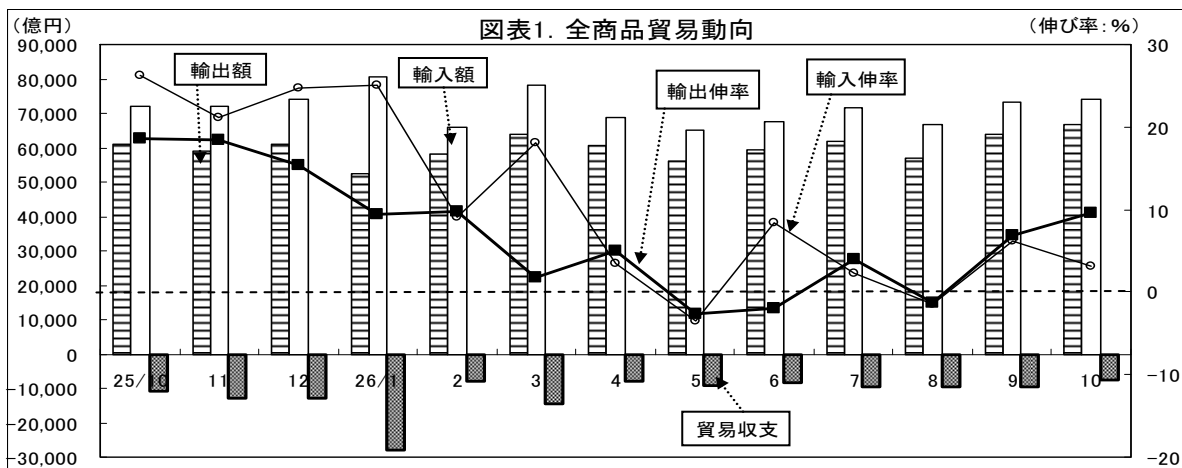
最近の機械貿易動向(10月)～機械輸出伸び率2ヶ月連続でプラス～

日本機械輸出組合 2014.12.19.

平成26年10月の機械輸出額は4兆3,183億円、対前年同月比10.4%増と2ヶ月連続でプラス成長となった。これは、①円安が進んだこと、②6地域向け全てがプラスとなったこと、③機械輸出額の約35%を占める自動車が増加したことなどによる。為替・営業日が5.6%の増加要因だったことを考慮すると、実質的な伸び率は4.5%増とプラスとなった。11月も為替が増加要因となるものの、営業日は前年に比べて2日少ないことから、合わせて3.6%の減少要因となる。仮に10月の機械輸出額の実質的伸び(4.5%増)が続くとすれば、前年比0.7%増と予想されたが、12月17日発表の貿易統計速報による簡易計算では11月の機械輸出は3.4%増であった。

1. 全商品貿易動向～輸出、輸入とも2ヶ月連続でプラス成長～

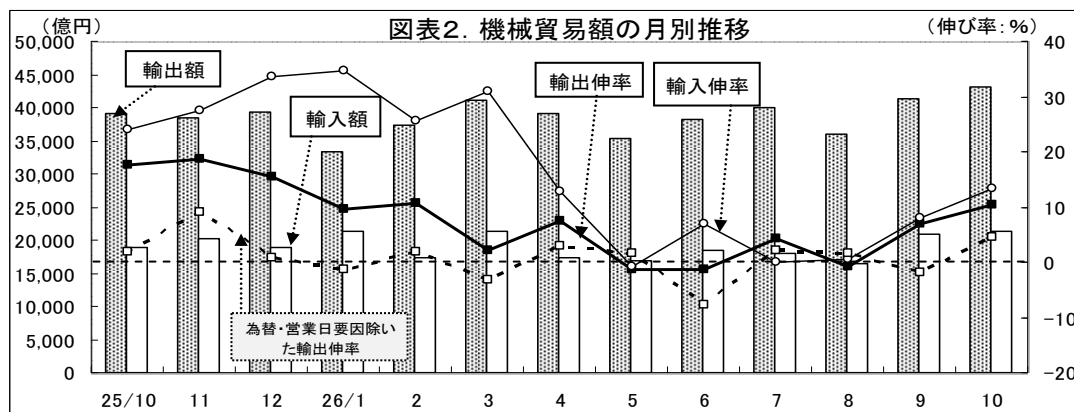
- 平成26年10月の全商品輸出額は**6兆6,887億円**、前年同月比(以下同じ)**9.6%増**と9月に引き続き、プラス成長となった(9月6.9%増)。これは、円安が進んだことに加え、全輸出額の24%を占める輸送用機器(10.6%増)、19%の一般機械(9.8%増)、18%の電気機器(10.8%増)が増加したためである。
- 輸入額は**7兆4,256億円**、**3.1%増**と2ヶ月連続でプラスとなった(9月6.2%増)。円安が進んだこと、全輸入額の約15%を占める通信機等電気機器(12.9%増)をはじめ、8%の鉄鋼等原料別製品(9.7%増)、一般機械(8.4%増)が伸びたことによる。
- この結果、輸出額から輸入額を差し引いた貿易収支は7,369億円の赤字となり、10月としては、1979年以来、昨年に次ぐ大きな赤字となった(昨年10月は1兆1,004億円の赤字)。



2. 機械貿易動向

(1) 機械輸出入動向～機械輸出、輸入ともにプラス成長で成長率が拡大～

- 全商品輸出額の約65%を占める10月の機械輸出額は**4兆3,183億円**、**10.4%増**と2ヶ月連続でプラス成長となり(9月7.0%増)、輸出額の水準は、リーマンショック前(平成19年10月)と比べると**83.8%**となり、前月に比べて1.5ポイント回復した(9月82.3%)。
- 一方、全商品輸入額の29%を占める機械輸入額は、**2兆1,376億円**、**13.4%増**と3ヶ月連続でプラスとなり(9月8.0%増)、リーマンショック前(2007年10月)の水準と比較しても、20.4%増となっている。

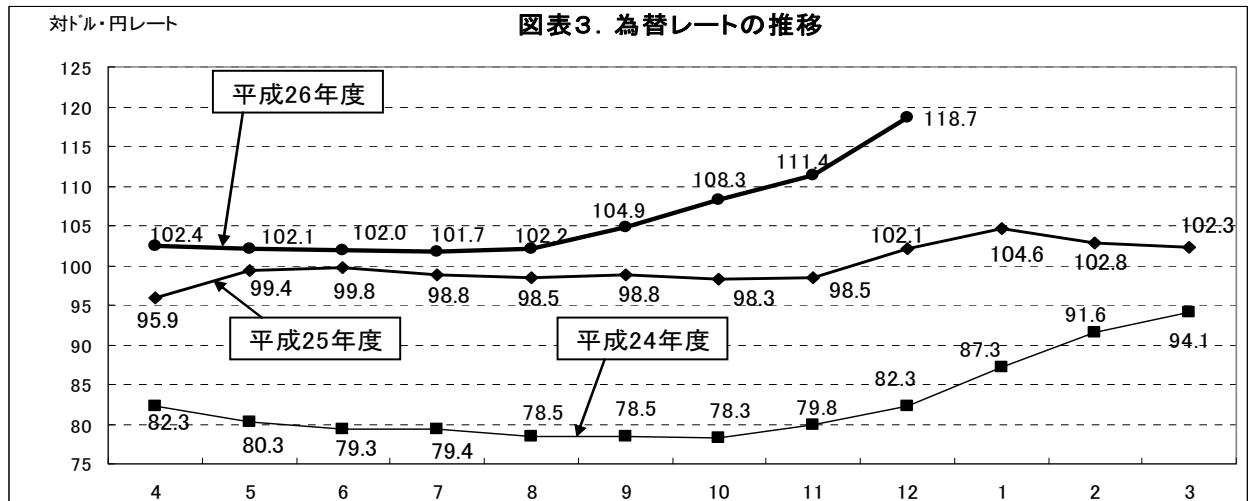


(2) 為替動向・営業日～10月は5.6%の増加要因、11月は約3.6%の減少要因～

1) 10月は1ドル=108.3円と円安が進み、前年に比べ10.2%の円安となった。また、対ユーロも138.1円と前年に対して3.8%の円安となり、合わせて約5.6%の為替増加要因となった。営業日は前年と同じだったため、合計で5.6%の増加要因となった。10月の輸出額は10.4%増であったことから、実質的伸び率は4.5%増とプラスとなった(9月1.8%減)。

2) 11月は1ドル=111.4円で前年比13.1%と追加緩和で円安が進み、対ユーロでは140.0円で前年比4.6%の円安となり、合わせて約7.1%の為替増加要因となった。営業日は前年より2日少ないため、10.0%の減少要因となり、合計で約3.6%の減少要因となる。

3) 12月は、対ドルが11月18日17:00時点の118.7円とすれば、前年に比べて16.3%の円安、また、対ユーロも146.1円と5.4%の円安となり、合わせると約8.9%の為替増加要因となる。営業日は前年と同じため、合計で約8.9%の増加要因となる。



(3) 地域別動向～その他地域向けを筆頭に、6地域全てでプラス成長～

1) 機械輸出額の地域的動きをみると、全地域向けでプラスとなり、①機械輸出額の19.0%を占める**その他地域向け**では、アフリカ(44.2%増)、中近東(28.2%増)、大洋州(13.8%増)向けが大幅に増加し、機種では全体の60%を占める自動車(11.1%増)をはじめ、船舶(28.0%増)等が大幅に増加して**13.9%増**となり、②21.7%の**中国向け**は、全体の15%を占める電子デバイス(13.4%増)をはじめ、光学機械(14.8%増)、軽電気機械(19.8%増)、重電気機械(19.2%増)等が大きく伸びて**12.7%増**となった。③15.0%を占める**ASEAN・南アジア向け**では、シンガポール(48.5%増)、インド(45.8%増)、ベトナム(43.7%増)等が大幅に増加し、業種では、全体の23%を占める自動車(1.5%減)が減少したものの、電子デバイス(17.7%増)、船舶(2.9倍)等が増加して**12.4%増**となり、④24.5%と最大輸出先の**北米向け**では、全体の50%を占める自動車(2.2%増)がプラスとなった他、産業機械(11.2%増)、航空機部品(31.9%増)、建設機械(45.6%増)等が増加して**8.8%増**となった。⑤11.2%を占める**EU向け**は、産業機械(11.2%増)、理化学用機器等軽機械(37.3%増)等が増加して**7.4%増**となり、⑥8.6%の**韓国・台湾向け**は、産業機械(10.2%減)がマイナスとなったものの、重電気機械(16.1%増)、光学機械(15.2%増)、電気・電子計測器等軽電気機械(11.2%増)等が増加して**3.4%増**となった。

2) また、リーマンショック前の平成19年10月の地域別輸出額と比較すると、全体では84%となり、ASEAN・南アジア、中国向けが100%を超え、その他地域、韓国・台湾、北米向けが80%台、EU向けが50%台となった。

図表4. 最近の地域別機械輸出動向

(単位: 億円)

	2014/8			2014/9			2014/10			対07年 10月比
	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	
全世界計	36,017	▲ 0.8	100.0	41,294	7.0	100.0	43,183	10.4	100.0	0.84
北米	8,407	▲ 4.5	23.3	9,786	4.4	23.7	10,591	8.8	24.5	0.80
中国	8,404	2.1	23.3	8,757	8.0	21.2	9,384	12.7	21.7	1.02
ASEAN・南アジア	5,615	▲ 1.0	15.6	6,155	7.3	14.9	6,468	12.4	15.0	1.04
EU	4,168	7.3	11.6	4,676	2.8	11.3	4,822	7.4	11.2	0.56
韓国・台湾	3,332	▲ 5.8	9.3	3,519	2.2	8.5	3,720	3.4	8.6	0.82
その他	6,091	▲ 1.7	16.9	8,401	14.1	20.3	8,198	13.9	19.0	0.84

は、2ヶ月連続で前年比10%以上プラス。

図表5. 韓国・台湾/ASEAN・南アジア/その他地域向け機械輸出の推移(月別)

(金額単位:億円、%)

国名	2014/7		2014/8		2014/9		2014/10	
	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率
韓国	1,679	▲ 12.6	1,675	▲ 15.2	1,883	▲ 2.9	1,896	▲ 7.4
台湾	1,823	16.9	1,657	5.9	1,636	8.7	1,824	17.8
ASEAN・南アジア								
タイ	1,627	▲ 14.1	1,585	▲ 10.4	1,649	▲ 4.0	1,614	▲ 5.4
シンガポール	952	18.0	933	9.99	950	14.4	1,199	48.5
インドネシア	818	8.8	737	▲ 17.5	886	1.0	779	▲ 11.6
マレーシア	730	10.6	639	1.5	705	0.3	711	▲ 8.2
フィリピン	600	13.6	504	▲ 0.5	627	18.2	608	13.9
ベトナム	521	23.0	540	27.8	537	25.1	654	43.7
インド	372	▲ 4.4	365	0.0	401	1.9	491	45.8
パキスタン	114	33.1	96	38.0	103	28.5	109	27.6
その他地域								
中南米	2,307	▲ 21.3	1,934	5.1	2,540	4.6	2,655	8.0
中近東	2,068	26.7	1,499	4.8	2,325	32.6	2,249	28.2
大洋州	1,257	7.3	1,048	▲ 7.9	1,399	21.2	1,256	13.8
ロシア東欧等	1,230	▲ 1.8	1,058	▲ 8.8	1,341	2.4	1,157	▲ 18.0
アフリカ	868	21.2	564	▲ 12.2	854	6.6	867	44.2

は、2ヶ月連続で前年同月比プラス(10%以上)

(4)業種別動向～21業種中2業種がマイナス、19業種がプラス～

- 1)業種別では、全21業種中2業種がマイナスとなり、前月より2業種減少した。業種では、全体の約35%を占める自動車(5.3%増)、16%の産業機械(8.9%増)が2ヶ月連続でプラスとなり、重電気機械(14.8%増)、船舶(49.0%増)、光学機械(13.2%増)、建設機械(13.0%増)、工作機械(36.6%増)、航空機部品(28.5%増)等の15業種が二桁の成長となった。
- 2)逆にマイナスとなったのは民生用電子機械(2.9%減)と繊維機械(22.0%減)の2業種のみであった。
- 3)この結果、リーマンショック前の水準を超えたのは航空機部品、ベアリング、軽機械、光学機械、重電気機械、医療機械、船舶、工作機械の8業種で、他方、電子計算機が30%台、民生用電子機械が40%台の低い水準にある。

図表6 上位21業種の輸出額の動き

(単位:億円、%)

業種名	2014/8			2014/9			2014/10			対07/10比		
	金額	伸び率	シェア	業種名	金額	伸び率	シェア	業種名	金額		伸び率	シェア
自動車	11,620	▲ 4.3	32.3	自動車	14,678	5.3	34.8	自動車	14,988	5.3	34.7	0.81
産業機械	6,228	▲ 3.0	17.3	産業機械	6,417	3.5	15.2	産業機械	6,885	8.9	15.9	0.96
電子デバイス	3,234	1.0	9.0	電子デバイス	3,302	8.2	7.8	電子デバイス	3,378	8.7	7.8	0.74
重電気機械	1,931	3.8	5.4	軽電気機械	2,130	4.5	5.0	重電気機械	2,342	14.8	5.4	1.07
軽電気機械	1,906	▲ 2.7	5.3	重電気機械	2,056	11.1	4.9	軽電気機械	2,262	11.8	5.2	0.86
軽機械	1,529	8.0	4.2	船舶	1,753	33.9	4.2	船舶	1,912	49.0	4.4	1.02
光学機械	1,481	2.3	4.1	民生用電子機械	1,590	▲ 11.0	3.8	民生用電子機械	1,731	▲ 2.9	4.0	0.41
民生用電子機械	1,513	▲ 10.8	4.2	光学機械	1,570	12.4	3.7	軽機械	1,727	18.2	4.0	1.24
船舶	836	▲ 6.2	2.3	軽機械	1,491	5.2	3.5	光学機械	1,570	13.2	3.6	1.16
工作機械	977	31.1	2.7	建設機械	1,107	16.0	2.6	建設機械	1,007	13.0	2.3	0.74
建設機械	922	11.5	2.6	工作機械	1,067	49.1	2.5	工作機械	904	36.6	2.1	1.02
航空機部品	674	26.5	1.9	航空機部品	672	24.4	1.6	航空機部品	792	28.5	1.8	1.78
通信機械	494	1.8	1.4	通信機械	654	3.2	1.5	通信機械	717	24.4	1.7	0.73
電子計算機	431	▲ 8.3	1.2	電子計算機	504	▲ 3.2	1.2	電子計算機	496	12.8	1.1	0.37
ベアリング	383	5.3	1.1	医療機械	469	17.5	1.1	ベアリング	454	16.6	1.1	1.27
医療機械	374	6.2	1.0	ベアリング	396	7.2	0.9	医療機械	438	22.5	1.0	1.06
陸用内燃機関	341	4.6	0.9	陸用内燃機関	346	3.1	0.8	陸用内燃機関	410	15.9	0.9	0.98
農業機械	182	21.5	0.5	繊維機械	176	▲ 16.7	0.4	農業機械	190	14.8	0.4	0.99
繊維機械	201	3.6	0.6	農業機械	170	9.6	0.4	繊維機械	178	▲ 22.0	0.4	0.64
産業車両	112	4.5	0.3	産業車両	123	2.5	0.3	産業車両	136	3.2	0.3	0.61
鉄道車両	73	▲ 27.1	0.2	鉄道車両	51	▲ 17.6	0.1	鉄道車両	54	47.7	0.1	0.79
21業種合計	35,442		98.4	21業種合計	40,720		96.5	21業種合計	42,571		98.6	0.84

は2ヶ月以上連続で10%以上増加。・産業機械:半導体製造装置、印刷・製本機械、風水力機械、タービン

・民生用電子機械:デジカメ、TV、部品 ・電子計算機:パソコン、HDD・プリンター等部品 ・軽機械:試験・検査機、理化学用機器

・軽電気機械:白物家電、電子計測器、配電機器、電池 ・光学機械:その他の光学機器(半導体検査装置、レーザー等)、カメラ部品

・通信機械:通信機械部分品、受信変換・その他送受信

(5) 機種別動向～船舶、鉄道車両等大幅増も、繊維機械、原動力機械等大幅減～

- 1) 10%以上の伸び率を示した機種は、①その他地域向け**船舶**(49.0%増)、②北米向け**鉄道車両**(47.7%増)、③中国、ASEAN・南アジア、北米向け**工作機械**(36.6%増)、④中国向け**通信機械部分品**(36.5%増)、⑤韓国・台湾、ASEAN・南アジア向け**発電機**(32.4%増)、⑥北米向け**航空機部品**(28.5%増)、⑦EU、北米、中国向け**理化学用機器**(26.9%増)、⑧その他地域向け**貨物自動車**(26.5%増)、⑨中国、北米向け**電動機**(25.4%増)、⑩中国向け**時計**(25.3%)であった。
- 2) 一方、最も落込み幅が大きいのが、繊維機械(22.0%減)、原動力機械(14.3%減)、デジカメ・ビデオ(14.1%減)等であった。

図表7. 伸び率上位機種(月50億円以上、前年比伸び率10%以上、10機種以内) (単位: 億円、%)

2014/8			2014/9			2014/10		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
工作機械	977	31.1	工作機械	1,067	49.1	船舶	1,912	49.0
航空機部品	674	26.5	船舶	1,753	33.9	鉄道車両	54	47.7
農業機械	182	21.7	電動機	155	27.8	工作機械	904	36.6
TV	100	18.8	航空機部品	672	24.4	通信機械部分品	379	36.5
電動機	147	18.2	電池	275	24.2	発電機	149	32.4
産業用ロボット	118	17.7	その他の重電気機器・部分品	528	23.1	航空機部品	792	28.5
写真機の部分品・附属品	160	14.9	発電機	111	22.3	理化学用機器	453	26.9
通信機械部分品	207	12.8	その他の光学機器	1,343	17.5	貨物自動車	1,015	26.5
理化学用機器	391	12.0	医療機械	469	17.5	電動機	176	25.4
建設機械	922	11.5	受信変換その他送受信	151	16.8	時計	115	25.3
機種合計	3,878	* 10.8%	機種合計	6,524	* 15.8%	機種合計	5,947	* 13.8%

は、2ヶ月連続で上位機種 * 機種合計の%は輸出額に占める割合
 通信機械部分品: ゲートウェイ、リピーター等 受信変換・その他送受信: ルーター、LANスイッチ等
 理化学用機器: 物理・化学分析用機器の部品、電気式分析機器等 電動機: 業務用モーター
 その他の光学機器: レーザー、半導体検査装置等 その他の重電気機器・部分品: 重電気機器部分品、交通管制用機器

図表8. マイナス伸び率上位機種(月10億円以上、10%減以上、10機種以内) (単位: 億円、%)

2014/8			2014/9			2014/10		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
原動力機械	382	▲ 29.1	デジカメ・ビデオ	442	▲ 21.8	繊維機械	178	▲ 22.0
鉄道車両	73	▲ 27.1	原動力機械	409	▲ 18.4	原動力機械	467	▲ 14.3
デジカメ・ビデオ	408	▲ 26.1	鉄道車両	51	▲ 17.6	デジカメ・ビデオ	488	▲ 14.1
半導体製造装置	903	▲ 14.7	繊維機械	176	▲ 16.7	写真機の部分品・附属品	158	▲ 10.3
発電機	81	▲ 11.9	写真機の部分品・附属品	154	▲ 11.5	機種合計	1,291	* 3.0%
機種合計	1,847	* 5.1%	金属加工機械	313	▲ 10.1			
			機種合計	1,545	* 3.7%			

は、2ヶ月連続でマイナス上位10位内 * 機種合計の%は輸出額に占める割合

(6) 機械輸入動向～3ヶ月連続でプラス成長。電子デバイス、携帯電話、電子計算機等が増加～

- 1) 10月の機械輸入伸び率は13.4%増と3ヶ月連続でプラスとなった。主要機械輸入機種である電子デバイス(7.8%増)、携帯電話(45.1%増)、電子計算機(5.9%増)のほか、航空機・部品等(75.8%増)、乗用車(13.6%増)、その他の配電制御装置(18.3%増)等が二桁増加したことによる。
- 2) なお、輸入額が輸出額を上回っている機種は携帯電話、電子計算機、航空機・部品等、白物家電、医療機械、受信変換・その他送受信、時計、TVとなっている。
- 3) 地域別機械輸入額は、全体の45%を占める中国(19.3%増)、ASEAN・南アジア(6.1%増)、EU(10.9%増)、北米(18.0%増)、韓国・台湾(2.9%増)、その他地域(8.0%増)の順であった。

図表9. 機械輸入額上位12機種 (単位: 億円、%)

2014/8				2014/9				2014/10			
機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア
電子デバイス	2,212	2.9	13.5	携帯電話	2,851	10.9	13.7	電子デバイス	2,501	7.8	11.7
電子計算機	1,552	▲ 3.0	9.5	電子デバイス	2,556	7.5	12.2	携帯電話	2,493	45.1	11.7
航空機・部品等	970	▲ 2.3	5.9	電子計算機	1,796	▲ 1.0	8.6	電子計算機	2,140	5.9	10.0
自動車部品	961	11.1	5.9	自動車部品	1,084	11.9	5.2	航空機・部品等	1,122	75.8	5.2
乗用車	934	6.0	5.7	乗用車	934	12.0	4.5	自動車部品	1,115	8.8	5.2
白物家電	566	▲ 7.7	3.5	航空機・部品等	870	▲ 21.1	4.2	乗用車	1,040	13.6	4.9
医療機械	553	1.1	3.4	白物家電	615	2.8	2.9	白物家電	687	7.0	3.2
受信変換その他送受信	520	4.6	3.2	医療機械	608	7.6	2.9	医療機械	648	2.3	3.0
配電機器	452	▲ 6.3	2.8	配電機器	533	4.5	2.6	受信変換その他送受信	548	▲ 0.2	2.6
携帯電話	359	▲ 48.7	2.2	受信変換その他送受信	524	19.8	2.5	配電機器	515	0.5	2.4
コンデンサー等部分品	341	▲ 6.0	2.1	その他の配電制御装置	401	25.1	1.9	コンデンサー等部分品	414	2.7	1.9
その他の配電制御装置	326	7.0	2.0	コンデンサー等部分品	397	10.9	1.9	その他の配電制御装置	401	18.3	1.9
12機種合計	9,746		59.5	12機種合計	13,169		63.1	12機種合計	13,624		63.7

は対前年比が2ヶ月連続で10%以上増加。・白物家電: 民生用電気機械
 ・受信変換その他送受信: ルーター、LANスイッチ等 ・その他の配電制御装置: スイッチ、配電盤、制御盤等